

## 袋井の良いところを 人でも多くの人に伝えたい

第5代 「袋井ほっと観光特使

吉野の 綾子さん (浜松市中区 友里さん(下新池)



す」(熊澤さん) お世話になっている感謝の気持ちを何 光特使のお仕事に活かせたらと思いま いいのかな?という気持ちもありまし みになってきました」(吉野さん) 固まり、観光特使としての仕事が楽し き、袋井の観光をPRすることで恩返 かのかたちでお返しできないかと考え たが、市外在住・在勤からの視点を観 さんからたすきを受けてからは気持も でしたが、委嘱式で前任の鈴木祐加子 ていたところに観光特使募集の話を聞 浜松市在住の私が袋井の観光特使で 決定の連絡を受けた時は不安ばかり ができたらと応募したそうです。

さんから、「こんな仕事があるんだけ

第4代観光特使だった鈴木祐加子

ただき、大好きな袋井を多くの人に ど、やってみない?」と声を掛けてい 活動を開始されたのが、吉野友里さん

4月から、第5代観光特使として

袋井の顔」的な存在、「袋井ほっと観

袋井の観光を内外にアピールする

(31歳)と熊澤綾子さん(27歳)です。

袋井の「おもてなし」を 広め・伝えていきたい

さんと熊澤さん。これからの活動の中 ろ、「人が温かい」と答えてくれた吉野 袋井のイメージをお尋ねしたとこ 人と人とのつながりを大切にし

市内の企業・団体との関わりが深く、

の募集に応募したという吉野さん。 知ってもらえたらと、第5代観光特使

熊澤さんは、

仕事で市商工会議所や

ていきたいといいます

観光特使の活動を通じて生まれるつ

心掛けたいと思います。 のためにも、まずは笑顔であいさつを のように強くしていきたいですね。 ながりを、細い線ではなく太いロープ PRでは、歴史ある観光名所と市内

迎え入れてくれる雰囲気があります。 そんな袋井のおもてなしの空気を含め の人に伝えられたらと思います。 て、袋井の良いところを1人でも多く みたいです」(吉野さん) 袋井の人たちは、初対面でも温かく

巡ってもらえるプランなども提案して

の新しい施設や飲食店などを一緒に

です」(熊澤さん) 新しい取り組みにも挑戦していきたい て、自分自身の健康にも注意しながら 健康文化都市・袋井の観光特使とし

柔らかなビニールボールを使い、4人対4人で行うバ レーボールです。バレーボールよりもルールが簡単なた め、初めての方やスポーツが苦手な方でも、手軽に楽しむ

現在、20代~70代の幅広い年齢層の男女が参加し

ていきたいという強い意気込みが感じ らは、素敵な笑顔の中にも、観光特使 として袋井の良いところを広め・伝え 取材に応じてくださったおふたりか

フーバとは、ふだんのくらしを 味が込められている「ふくしバレー」です。

ことができます。

)袋井市観光協会ホームページ

http://www.fukuroi-kankou.jp





①袋井北小学校…午後7時30分~9時30分

②浅羽体育センター…午後2時~4時(1回/月) 毎月異なりますのでお問い合わせください。

しく笑顔で体を動かしながらプレー -バを体験して、『健康で若さを保ち、楽しい生涯ス 一緒にはじめませんか?』。